

## ＜日商簿記1級工業簿記ミニテスト20＞ABC

次の資料によって、伝統的原価計算（アバウトな計算をしているという意味）と、ABCシステムを適用した場合の（活動基準）原価計算を実施して、両者の売上総利益を計算しなさい。  
 ＜資料＞

1. 製造間接費総額 910,000 千円
2. 製造間接費を発生させる活動別に原価を区分集計した場合、製造間接費は、次のように区分される。

機械利用費	560,000 千円
段取費	80,000 千円
修繕維持費	120,000 千円
運搬関係費	150,000 千円
計	910,000 千円

3. 伝統的計算の製造間接費配賦基準 労務費基準

4. ABC 計算のコストドライバーと配賦比率

	コストドライバー	1001	1002
機械利用費	機械運転時間	400 時間	300 時間
段取費	回数	4 回	4 回
修繕維持費	修繕回数	10 回	20 回
運搬関係費	運搬回数×距離	80	120

5. 1001・1002 の収益と直接費

	1001	1002
収益	2000 千円	1,500 千円
直接費	970 千円	720 千円
内訳：材料費	490	380
労務費	360	240
外注費	120	100

<解答>

<伝統的計算>

	1001	1002
収益	2,000 千円	1,500 千円
原価計	1,516 千円	1,084 千円
<直接費	970 千円	720 千円
<間接費	546 千円	364 千円
売上総利益	484 千円	416 千円

<参考：製造間接費の配賦計算>

1001 ～  $910 \text{ 千円} \times 360/600 = 546 \text{ 千円}$

1002 ～  $910 \text{ 千円} \times 240/600 = 364 \text{ 千円}$

<ABC 計算>

	1001	1002
収益	2,000 千円	1,500 千円
原価計	1,430 千円	1,170 千円
<直接費	970 千円	720 千円
<間接費	460 千円	450 千円
売上総利益	570 千円	330 千円

<参考：製造間接費の配賦計算>

(総額)		1001	1002
機械利用費	560,000	320,000	240,000
段取費	80,000	40,000	40,000
修繕維持費	120,000	40,000	80,000
運搬関係費	150,000	60,000	90,000
合計	910,000	460,000	450,000

※計算方法の例示（機械利用費）

1001 :  $560,000 \text{ 円} \times 400/700$     1002 :  $560,000 \times 300/700$